

紹介

◎遠野物語 柳田國男著

本郷區龍岡町 聚精堂

菊判一四頁定價五十錢

陸中遠野の郷に今現に在る出來事の物語にして、山神、山男、山女、雪女、河童、猿、狼、狐、熊などの怪異談百余項を、修飾なき筆にて誌される珍本なり。成功と云ひ、實利と云ひ、科學と云ひ、發明といふ、壓迫刺戟のあまりに多きに苦しむ際、かゝる書を手にするには何人にも必要なり。但、著者は此書の現代的に在らずとの謙遜より、發行の部數僅に三百五十を限られたるは惜むべし。

◎新日本畫譜 上卷 石井拍亭畫

本郷駒込千駄木林町 方寸社

四七長方形洋裝 定價七十錢

石井氏の日本畫は、油繪よりも水彩よりも面白き處あり、此書集むる處の繪畫七十枚、何れも清新の氣に満ちて卷を措く能はざらしむ、或人は筆致吳春に似て構圖はそれ以上なりと賞讃せられたり、日

本畫はすでに今日以上進むべき道なしといふ人は、此一巻の畫譜によつて啓發せらるゝ處定めし大ならん。

◎女子東京遊學案内 今井翠巖の著にして

四六判六百餘頁、遊學の指針として各種の注意を擧げ、諸學校の規則を漏さず網羅したり、説明親切なれば、好指導者として信賴するに足らん(定價五十八錢 日本橋本町博文館)

◎小學校に於ける最新圖案教授法

石田凌風著

日本橋區本石町三丁目 寶文館

菊判洋裝插圖四十一三〇頁

定價六十錢

著者は小學校に於ける圖按教授の參考として編纂されしものなれど、一般圖案の何者たるかを知るに適當の書なり。特に色彩に關する理論は、説明懇切なれば、繪を學ぶ人にも益多かるべし。

◎圖案鏡 これは書物ではない、方三寸程の鏡を二枚折屏風のやうに蝶番にて合せしもので、これを繪畫や文字の上に立てて見ると、種々なる面白い模樣が現は

れる。單に實用のみならず、誰れでもこれによつて二三時は知らずに遊ぶことが出來やう、小學時代の子供の教育玩具としても面白い。(石田凌風氏考案、定價十二錢他に小包料を要す、京都府龜岡北町内藤半月堂發賣)

◎學生文藝 第一號 内容は其名の示すが如し。中澤氏筆の三色版油繪あり、鷗外氏の小説あり、其他讀むべき文字多し(一部十五錢、本郷駒込千駄木林町聚精堂發行)

◎模範 第一號 各方面にわたり模範となるべき記事を集めたものであらゆる階級の人々の修養の上に益すること多からん(定價十六錢五厘、神田旅籠町一丁目文光堂發行)

講習會々員寫眞の前列、右より二人目の洋服は講師、全中央の洋服は發起者藤田氏同左の何か描いてゐるのは委員佐久間氏、第三列右より八人目の少し低いのが委員水谷氏、其上の白の洋服は委員吉村氏、其左隣りは發起者小林氏なり。